

事業所名 放課後等デイサービス ねっこぼっこ

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

17日

法人（事業所）理念		私たちは障害のあるなしに関わらず、すべての子どもたちが地域で一緒に生き合っていく、そのような誰にもやさしい持続可能な社会を目指して活動しています。		
支援方針		放課後の子どもたちの居場所を提供すると共に、それぞれのこどもの戸惑いや不安感を受け止めながら、それぞれのこどもの育ちの凸凹に寄り添い関わる中で、遊戯、芸術などの療法を実行し、学習支援、文化創造活動、日常生活訓練を通して、こども一人ひとりの生きる上での困難の軽減を図ります。		
営業時間		9時 30分から 17時 30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康状態をチェックする、意思表示が困難な時のサインに気付けるよう日頃から細やかに観察・把握する、健康状態の維持・改善できるようにする、身の回りを清潔に、食事や衣類の着脱、お片付け等生活に必要な基本的技能を獲得できるようにします。病気の予防、安全への配慮の支援もします。		
	運動・感覚	姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、習得、バランス感覚を養うなどをし、動作の基本的技能の向上力を取得する。保有している聴覚、視覚、触覚などの感覚を活用する遊びを通して支援する。感覚や認知の特性を踏まえ、感覚過敏、鈍麻に対して適切に対応します。		
	認知・行動	数量、形、大きさ、重さ、色等の習得を支援して環境から情報を取得する方法を教える。視覚・聴覚などの感覚を活用して必要な情報を選択し行動に繋ぐ認知過程の発達支援をする。それぞれの特性に配慮し、適切に情報処理できるように教える。認知の偏り、交流の難しさから生ずる行動障害の予防と適切な支援をする。		
	言語 コミュニケーション	物や体験と言葉の意味付けをする、言葉の習得、自発的な発声を促す支援をします。指差し、身振り、絵カード等のコミュニケーション手段を活用し、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、環境の理解と意思伝達ができるように言葉の受容、表出、発達障害に応じた読み書き能力を獲得するための支援をする。		
	人間関係 社会性	集団行動に参加するための手順や共通ルールを理解し、仲間作り、集団活動の楽しさ、達成感を得るようにする。自分の理解と行動や気持ちのコントロールの支援を通し、一人遊びから共同遊び、社会性や対人関係に興味が出るように支援する。愛着行動の形成で周囲の人と安定した関係を形成する。社会性への発達を支援する。		
家族支援		情報共有の場の提供をする。孤立感を軽減し、支援の輪を広げます。子どもの行動を理解し、適切な対応方法の助言をし、安心して子育てをする支援をします。	移行支援	子どもと家族のニーズを確認し、子どものペースに合わせて、移行先と連携して、支援内容、方法を共有する。段階的に移行を進める。新環境に適応出来るように継続的サポートもします。
地域支援・地域連携		地域連携の強化をし、子どもが一貫した支援を受けられるようにする。地域全体で子どもを支えるためのネットワークを構築し、情報共有、支援体制の整備をします。	職員の質の向上	定期的な研修を実施する。資格取得のサポートをします。業務を評価し、フィードバックすることで不足点を改善し、支援の質を高めます。
主な行事等		毎月ごとにお誕生日会を開催する。長期休み中は遠足、プール遊びなどの活動をする。季節に合わせてひな祭り、こどもの日、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月、初詣、節分などのイベントも行います。子どもの障害特性に応じて、変更する場合もございます。		